

# 健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 15206
お名前	尾崎 正昭
性別	男
年齢	65歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

私の住んでいる町は長寿社会の現状、健康長寿の未来を展望した科学、研究の施設が在ります。このような環境下で市民の健康意識も高く、感化された私もその1人です。企業では労働衛生管理者として約30年間勤務、定年間近の頃、今後の生活設計を思考し、「自分自身に一生懸命」になれる事？、ひいてはその事が誰かのお役に立てられる事？とは何があるだろうかと思っていた時、健康管理士一般指導員資格の事を知り、現役経験とさらに知識を深めて地元地域に奉仕出来る事の一つになるのではないかと、資格取得に挑戦する事にしました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

当時は現役勤務でしたので、講座が通信教育である事、そして厚生労働省の教育訓練給付制度が受けられる事が魅力でした。資格取得に一抹の不安を感じながらのスタートでしたが、テキストでは予防医学用語や文章ばかりでなく、イラストを用いたり適所にコラムなどを取り入れて、分かりやすく解析してあり安心しました。受講開始から修了証交付までと資格取得(合格)までのプロセスが添削問題集提出などによって、着実に合格目標に到達可能な指導がされていました。

私の場合、年齢的な事を考えると、ここで一回で合格しないと気持ちが折れてしまうのではないかと、一点集中との思いで、当時行われていた夜間講座に参加し、良き講師に恵まれた事、そして大阪での「合格対策講座」にも参加した事が良かったのでしょうか。

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

私は市の「健康づくり推進員」協議会の一員です。「健康宣言・WHO健康都市連合加盟の町」でもあります。保健センター(健康推進課)を拠点に、「健康づくり」広報冊子の発行、講演会主催、ウォーキング開催、推進員養成の講座勧誘など仲間と活動しています。「健康日本21計画推進評価会議委員」もしています。様々な行事や会議において積極的になれるのは、「健康管理士一般指導員」の資格があればこそと思っています。

その他「ほすぴ」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

一般的に資格取得後は再研修などによって資格担保されていますが、当該資格ではその後(取得後)においても、「ほすぴ」の様に2ヶ月に一度の定期教材は個人勉強やグループ研鑽には欠かせない存在となっています。健康意識高揚のなか、健康情報氾濫に惑わされる事なく、「適切にアドバイスできる」ものとして、「自分の健康」として、「生涯学習」として活用していきたいと思えます。